

表7. 平成22年度 修士論文題目

建築学専攻

氏名	指導教員	修士論文題目
青野 翔	荒木 慶一准教授	伝統木造柱 - 貫接合部復元力特性の有限要素モデリング
浅野 雄太	石田 泰一郎准教授	有彩色物体が存在する空間の明るさ感の定量的予測に関する研究
石川 俊介	西山 峰広教授	曲げ変形が卓越する有開口RC造耐震壁の耐震性能評価とモデル化に関する研究
石塚 悠伍	林 康裕教授	2006年インドネシア・ジャワ島中部地震で被災した伝統木造建築物の耐震性評価
井上 雅樹	加藤 直樹教授	普遍的最速フローモデルを用いた緊急災害時における避難計画手法に関する研究
梅木 知	竹山 聖准教授	建築の記念的表現の射程 — 想起の空間による共同性の解釈 —
大原 洸	吉田 哲准教授	ロコミテキスト、立地、外観から見た京都市中心市街地における飲食店舗の「隠れ家性」の研究
岡 大輔	鉾井 修一教授	蒸暑地域に居住する人々が選択する空調時の室温に関する実態調査
岡野 孝則	田路 貴浩准教授	ル・コルビュジェの都市と自然の思想に関する一考察 — “La Ville radieuse”を通して—
岡村 拓弥	中島 正愛教授	スリット入り鋼製パネルの横座屈変形を用いた構造物の最大応答変形推定手法の開発
岡山 真之介	荒木 慶一准教授	瞬間剛性に対する固有値解析に基づくドリフト・変形集中現象発生メカニズムの考察
小野 雅之	上谷 宏二教授	極大地震動に対して最適設計された中低層建築物の耐震性能評価
加藤 雄也	田路 貴浩准教授	ルイス・マンフォードの地域主義思想 — アメリカ地域計画協会における活動期を中心として—
川端 慎也	荒木 慶一准教授	定荷重支持機構の組み合わせによる上下・水平2次元免震装置の開発
川吉 里季	田路 貴浩准教授	ル・コルビュジェの「輝く農場・輝く村落」に関する研究
北川 直人	上谷 宏二教授	完全適合シェル有限要素を用いたRC耐震壁の終局状態解析
木下 一穂	門内 輝行教授	集会的活動としての町並み景観形成のための場のデザインに関する研究～京都市修徳学区を対象として～
木村 奈津子	鉾井 修一教授	古墳の石槨内部発掘調査時の温湿度・空気質環境の制御方法に関する研究
国松 えり	山岸 常人准教授	13～15世紀の沖縄グスク遺跡のもつ御嶽としての役割について
國松 英彦	吉田 哲准教授	大学院生の執務中における会話・リフレッシュ行為による皮膚電位水準と疲労度の変化の研究
久米 建一	吹田 啓一郎教授	強度のばらつきを考慮した地震応答解析による座屈拘束ブレース接合部の耐力要求値
久米 みどり	門内 輝行教授	京都市における子育て支援のための建築・都市環境に関する研究 — 保育園・幼稚園を中心として—
小林 篤司	加藤 直樹教授	大阪主要オフィスエリアにおける企業立地・移転要因に関する分析
佐藤 浩太郎	林 康裕教授	免震建物の地震時擁壁衝突挙動評価に関する実証的研究
鈴木 恭平	林 康裕教授	活断層近傍の地震動特性を考慮した建築物の設計用地震荷重評価
田井 利幸	林 康裕教授	歴史的煉瓦造建築物における内外壁の面外方向振動特性評価に関する研究
高田 展充	山岸 常人准教授	ジョサイア・コンドルによるハーフティンバーの導入とその影響

高野 日登実	門内 輝行教授	街路空間における景観デザインの分析と評価 —記号場としての京都・三条通り—
高橋 遥希	林 康裕教授	連檐する伝統的木造建物群の地震時衝突挙動評価に関する研究
田中 裕輔	吉田 哲准教授	経路探索時における交差点の視覚的要素に対する記憶 — GPSナビゲーションと紙面地図による記憶の相違 —
千葉 美幸	高松 伸教授	アルド・ロッシの建築思想における「断片」
坪山 紀子	中島 正愛教授	スリット入り鋼板耐震壁に対する面外補剛方法の検証と性能評価
中嶋 拓	吹田 啓一郎教授	有限要素解析による力学性能評価に基づく建築構造部材の形状最適化
中嶋 麻起子	鉾井 修一教授	軒下外壁における藻類の生育状況に関する研究
中山 裕貴	吹田 啓一郎教授	外ダイアフラム形式円形鋼管柱梁接合部の耐力評価法
西澤 隼平	竹山 聖准教授	セドリック・プライスの建築思想に関する一考察 — 1960年代の実践と言説にみる(システム)としての建築 —
髭 貴政	山岸 常人准教授	近世における修陵と山陵観に関する研究
平井 淳	吹田 啓一郎教授	商業施設におけるプロパティマネジメント業務の改善に関する研究
平井 慎一郎	門内 輝行教授	建築・都市空間の可視領域特性と人間行動に関する研究
廣川 貴則	川瀬 博教授	微動の水平上下スペクトル比の方位依存性とその応用に関する研究
宮重 達也	門内 輝行教授	創造都市における創造産業クラスターと文化都市政策の分析
宮本 誠弘	河井 宏允教授	木造門建築物にかかる風力
森安 章人	上谷 宏二教授	多軸応力を考慮したトータル量表現型高速塑性解析と感度解析
吉田 勝亮	鉾井 修一教授	睡眠時の快適な温熱環境の形成に関する研究
吉田 有里	鉾井 修一教授	スコタイ遺跡におけるレンガ造大仏の劣化に関する研究
韓 宇寧 HAN, YU NING	吉田 哲准教授	都市内農村部の開発の進行と城中村の発生の関係の研究 —1980年以降の中国蘇州市を対象として—
NGUYEN L E VU	古阪 秀三准教授	ベトナムの建設プロジェクトにおけるコスト変動要因に関する研究 Research on Factors Causing Cost Fluctuation of Construction Projects in Vietnam
宋 書海	中島 正愛教授	頭付きスタッドを用いたSFRCCと鋼の接合とその耐力評価
李 成璨 LEE, SUNG CHAN	原田 和典教授	盛期火災への遷移を考慮した二層ゾーンモデルの改善方法に関する研究
八田 有輝	西山 峰広教授	高性能材料を用いたPCaPC柱のせん断耐力抵抗機構のモデル化に関する研究
山本 惇也	西山 峰広教授	引張軸力下でのスタッドのせん断抵抗挙動に基づく鋼板耐震壁で連結された高層RC連層耐震壁架構の耐震性能
仲 輝	西山 峰広教授	耐火実験とFEM解析に基づくRC骨組の損傷評価
杉野 勇太	田路 貴浩准教授	建築創作における「遊び」について
新田 祐平	川瀬 博教授	三次元有限差分法による2007年新潟県中越沖地震の強震動シミュレーション
村上 芙美子	高松 伸教授	村野藤吾の「オリジナリティ」 —— 剽窃と創造の迫間の考察 ——

都市環境工学専攻

氏名	指導教員	修士論文題目
市橋 直樹	竹脇 出教授	非線形制振ダンパーを有する曲げせん断型モデルの層方向縮約法と最適ダンパー配置法
伊東 俊亮	高田 光雄教授	京都市都心部における地蔵盆の役割に関する研究 —有隣学区での取り組みを事例として—
上野 浩平	竹脇 出教授	実体波と表面波から構成される地震動を受ける弾塑性構造物に対する極限外乱
垣田 悠三子	高田 光雄教授	個人史からみた堀川商店街の変遷に関する研究
亀田 学	高田 光雄教授	高齢者福祉施設が併設された公的賃貸住宅の空間構成と利用に関する研究
川上 竜佑	竹脇 出教授	座屈拘束プレースを含む骨組の定荷重弾性解析に基づく縮約モデル
岸岡 陽介	高橋 大次教授	「局所作用の仮定」による誤差に関する研究 —吸音体内伝搬音による考察—
木全 淳平	田中 孝義教授	平日の京阪神大都市圏における就業者人口の時空間分布推定に関する研究
木村 貴信	高橋 大次教授	音響特性に応じた音質調整が音声の明瞭性に与える影響に関する研究
小松 三久	小林 正美教授	駅周辺整備地区における市民組織の取り組みに関する研究 —JR八尾駅周辺まちづくり協議会を事例として—
新屋 泰平	上谷 芳昭准教授	ビデオ測色法による景観の色彩測定に関する研究
辰己 紘樹	上谷 芳昭准教授	波長別相互反射を考慮したタスク・アンビエント照明の演色性評価に関する研究
西 達哉	小林 正美教授	フィジー諸島共和国の伝統木造住居プレの建築様式に関する事例研究 —ビチレブ島ダマ村・ナバラ村における実測調査を通して—
藤岡 將利	田中 仁史教授	中低層建物の大幅な重量軽減を目的とした集材材床スラブシステムの実験的研究
藤原 悠祐	竹脇 出教授	3段ユニット間柱型粘弾性ダンパーシステムの開発と制振特性の簡易評価法
堀 諒平	高田 光雄教授	近隣住区を越えたまちづくり活動を促すパートナーシップ型組織の運営に関する研究 —京都市洛西ニュータウンを事例として—
前田 朋宏	竹脇 出教授	限定された観測データを用いたARXモデルによる建物の剛性・減衰同定法
村上 裕幸	高田 光雄教授	複数の一人協定地区からなる住宅団地におけるまちづくりの展開に関する研究 —京都市・桂坂地区を事例として—
山本 薫	竹脇 出教授	Optimal Damper Placement in Building Structures for H^∞ Norm (建築構造物の H^∞ ノルムを最小化する最適ダンパー配置)
李 容子	伊勢 史郎准教授	境界音場制御の原理に基づく三次元音場再現システムにおける室内伝達関数の変化の影響に関する研究
岡本 陽平	高田 光雄教授	ロンドンにおける高層住棟を含む公営住宅団地の再生に関する研究

表8. 博士学位(平成22年4月～平成23年3月)

建築学専攻

氏名	指導教員	博士論文題目
李 永輝	銚井 修一教授	発掘時における古墳壁画の保存環境に関する研究
屈 小羽	銚井 修一教授	Residents' Behavior in Room Use in Chinese Urban Apartment Houses—Case Studies on Elderly Couples and One-Child Families (中国都市部の集合住宅における居住者の部屋使用行動の研究—高齢夫婦世帯と一人っ子世帯を対象として)

李 東潤	上谷 宏二教授	木材のめり込み及び摩擦特性に基づく伝統木造柱脚及び柱一貫接合部の復元力特性のモデル化に関する実験的研究
Andres Jacobsen Pohlenz	中島 正愛教授	Development of Steel Slit Wall Dampers with Embedded Condition Assessment Capabilities (損傷検知機能を内蔵した鋼製スリット壁ダンパーの開発)
李 俊錫	加藤 直樹教授	韓国の建築プロジェクトにおける品質確保のための監理方式に関する研究
宮本 慎宏	林 康裕教授	伝統構法木造建物の変形性能と最大応答変形を考慮した耐震性能評価に関する研究
更谷 安紀子	林 康裕教授	木造建物の耐久性や劣化を考慮した地震リスク評価と地域性を踏まえた地震対策
杉山 真魚	門内 輝行教授	ウィリアム・モリスの生活芸術思想に関する建築論的研究
西野 佐弥香	高松 伸教授	建築プロジェクトにおける設計者と施工者の連携に関する研究—建築家の主導による設計内容の確定過程—
神原 浩	林 康裕教授	地震被害データに基づく建築物非構造部材の地震被害予測法に関する研究
近藤 修平	鉾井 修一教授	住宅における給湯用エネルギーの削減に関する研究
張 昕楠	鉾井 修一教授	Knowledge Workers' Space Use and Verbal Communication Behavior in Construction Companies Offices—Case Studies on Territorial, Non-territorial and Big Open Plan Workplaces—(建設会社のオフィスにおけるナレッジワーカーの滞在行動と会話行動の研究—固定席、自由席ワークプレイス、大規模オープンプラン形式のワークプレイスでのケーススタディ)

都市環境工学専攻(平成22年4月～平成23年3月)

氏 名	指導教員	博士論文題目
韓 勝旭	高田 光雄教授	密集市街地の再生における住環境運営主体の形成に関する研究—在日コリアンが集住する京都市東九条地区を事例として—
中西 啓二	竹脇 出教授	パイルド・ラフト基礎の常時及び地震時の挙動と杭の最適配置設計に関する研究
西野 智研	田中 哮義教授	ポテンシャルの概念に基づく地震火災時の都市避難性状予測手法の開発
関川 華	高田 光雄教授	フランス首都圏の共同住宅管理におけるガルディアン役割に関する研究